

令和4年12月7日
観 光 庁

～第2のふるさとづくり推進ネットワーク～ キックオフイベントを開催します！

観光庁では、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たな旅のスタイルの普及・定着を図るべく、「第2のふるさとづくりプロジェクト」を推進しています。

今般、取り組み趣旨に賛同いただいた地方公共団体、民間事業者等による情報交換の場として「第2のふるさとづくり推進ネットワーク」を設立し、本ネットワーク登録者を対象としたキックオフイベントを開催します。

開催概要

【日 時】 令和4年12月16日（金） 14時00分～16時00分

【形 式】 オンライン（Zoomウェビナー）

- 【プログラム】
- 開会挨拶
 - 講演：何度も通う旅、帰る旅の価値とは？
～データで見るところの故郷旅ニーズの高まり～
 - 事例紹介：モデル実証地域の取組
 - パネルトーク：来訪者からの声（地域への思いや地域に求めること等）
 - 情報発信・プロモーションに関するセミナー：ファンコミュニティを地域にいかす
- プログラムの詳細は別紙1をご確認ください。

【申込み】 「第2のふるさとづくり推進ネットワーク」への登録申請後、ご登録アドレスへ視聴URLを送付いたします。

ネットワークへの登録はこちら：<https://forms.office.com/r/UzMByWRaCF>

ネットワークの詳細は別紙2をご確認ください。

注：イベント参加希望の方は12月14日(水)17時00分までに
ネットワークへの登録をお願いします。



問い合わせ先

観光庁 観光地域振興部 観光資源課 担当：日比・若林・木村・濱渦
E-MAIL：hqt-okaeri@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8111(代表) (内線:27-828、27-826) / 03-5253-8924(直通)
注：可能な限り、メールでのお問い合わせにご協力をお願いします。

プログラム

14:00 開会挨拶

観光庁 観光地域振興部長 中村広樹

講演：何度も通う旅、帰る旅の価値とは？～データで見るこころの故郷旅ニーズの高まり～

新型コロナウイルス感染症の影響等によって働き方・住まい方に関する意識が変化する中で、変わる旅のニーズ、価値をデータとともにご紹介。



沢登次彦氏
じゃらんリサーチセンター長、とーりまかし編集長

1993年3月明治大学農学部農学科卒業。1993年4月株式会社リクルート入社。関東近郊観光地のエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。2007年4月より現職。観光庁を始め中央省庁や地方自治体の各種審議会委員、講演・研修等を務める。

14:20 事例紹介：モデル実証地域の取組

観光庁では、第2のふるさとづくりに必要な要素として、地域との関わりの創出、柔軟な滞在環境づくり、移動の足の確保などに対して優良事例を創出するために、今年度より全国19地域でモデル実証事業を実施。その中から、3地域の取組内容、工夫しているポイントなどを紹介。

福島市産の蚕の糸が結ぶ文化と人～シルクロードが導く新たなふるさとづくり～

取組地域：福島県福島市

登壇者：福島市フルーツラインエリア観光推進協議会 中山高行氏

地域に「役割（働く・学ぶ）」を。関係地を作る瀬戸内Life Experience

取組地域：香川県三豊市

登壇者：瀬戸内ワークス株式会社 代表取締役 原田佳南子氏

コンシェルジュが来訪者と地域を繋ぎ、一緒につくる第2のふるさと

取組地域：沖縄県国頭村・大宜味村・東村

登壇者：株式会社Endemic Garden H 金城元樹氏

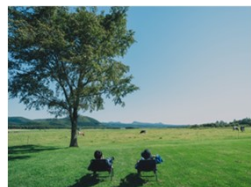


15:00 パネルトーク：来訪者からの声（地域への思いや地域に求めること等）

モデル実証事業の採択地域にモニターツアーなどを通じて訪れ、「第2のふるさと」と感じ始めている方、以前から関わりを持ち「第2のふるさと」として通っている方にインタビュー。地域への思いや滞在に対して求める生の声をお届け。

ファシリテーター：株式会社ナビタイムジャパン 藤澤政志

パネリスト	： 須川定徳氏	相川知輝氏
〔来訪地域〕	〔北海道弟子屈町 フリーランス（WEB関係）〕	〔富山県 コンサルタント会社代表〕
	荻原則夫氏	鈴浦かれん氏
	〔新潟県南魚沼市 IT関連企業社員〕	〔新潟県佐渡市 大学生〕



15:30 情報発信・プロモーションに関するセミナー：ファンコミュニティを地域にいかす

地域にきてもらい、地域とつながり、地域のファンになってもらうにはどうすればいいのか？

近年注目されている「ファンコミュニティ」のアプローチを地域にいかす方法を専門家が語ります。



田中宏和氏

株式会社電通 シニア・コミュニティ・ディレクター／統合クリエイティブ・ディレクター、タナヒロカズ運動発起人
一般社団法人田中宏和の会 代表理事
1991年電通入社以来、マーケティング、プロモーション、クリエイティブの領域横断的にキャンペーン企画、商品開発、ブランド開発、コンテンツ開発などに従事。

(16:00 閉会予定)

注：内容は一部変更になる可能性があります。

第2のふるさとづくり推進ネットワーク

第2のふるさとづくりプロジェクトを更に推進するための地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）、民間事業者、関係省庁等による情報交換の場となります。優れた取組手法や関係省庁からの情報の共有、メディア等への情報発信機会の提供、参画団体間での情報交換等を行っていくことで、新たな国内交流市場の開拓を図るものです。

第2のふるさとづくりプロジェクトにご関心のある組織・団体であればどなたでもご参加可能です。

登録申請フォームURL : <https://forms.office.com/r/UzMByWRaCF>

<主な活動内容>

- ・第2のふるさとづくりに関する施策、事例等の情報の共有、発信
- ・第2のふるさとづくりに取り組む事例の情報交換、相互交流
- ・第2のふるさとづくりに係るノウハウ等の周知・普及、機運醸成

詳細についてはこちらの報道発表をご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news05_000325.html

<第2のふるさとづくりプロジェクトとは>

新型コロナウイルス感染症の影響等によって働き方・住まい方に関する意識が変化する中で、密を避け、自然環境に触れる旅へのニーズなどが高まっています。また、大都市にはふるさとを持たない若者が増え、田舎に憧れを持って関わりを求める動きも存在しています。こうした新しい動きも踏まえ、国内観光の新しい需要を掘り起こし、地域経済を活性化する観点から、いわば「第2のふるさと」として、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たな旅のスタイルを提案しています。

詳細はこちらをご参照ください。

- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」施策紹介ページ：
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/anewhometown.html>
- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」特設ページ：
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/anewhometown/>
- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」Instagram：
<https://www.instagram.com/anewhometown/>